

SDGs 実践例紹介コーナー

当所では、本年7月、議員はじめ部会・ブロック役員等のSDGsに関する認知度実態調査を実施し、170社から回答を得ました。SDGsの認知度は、業界からの情報提供やテレビ・インターネット等によるメディアにより80%と広がりを見せています。このうち、「アクション・対応を行っている」と回答したのは、24%に留まっており、また、行動できると考えられるゴールでは、「はたらきがいも経済成長も」、「つくる責任、つかう責任」、「すべての人に健康と福祉を」の順になっています。

今後の経営のヒントになると言われているSDGs。事業所活動として継続的な取り組みを実践している事例を紹介します。

今号のSDGs実践例紹介：東春信用金庫



東春信用金庫は「地域社会の発展に貢献する」を経営理念に掲げ、長年、地域密着で業務をしています。従来からの信用金庫の事業活動はSDGsにおける「パートナーシップ」を軸とした「経済」「社会」「環境」の目標に向けた活動と親和性が強く、SDGsの理念に基づいた【地域経済の持続的発展】【地域社会の課題解決】【地域環境の保全推進】を“より強力に”進めていくことが当金庫の経営理念実現に繋がると考え、2020年4月1日に「とうしゅんSDGs宣言」をさせていただきました。



- SDGsの担当部署を定め、【地域経済の持続的発展】を中心に金融仲介機能として実践できる、信用金庫らしい取り組みを目指し推進していくこととしました。
- 地域経済の活性化や地域事業者の課題解決を【地域経済の持続的発展】と考え、「課題解決型営業」への転換を目指した事業計画を作成しました。



コロナ禍も重なり、中小零細企業に対する“課題解決支援（本業支援）”は非常にニーズが高いことを実感しました。今後も課題解決型営業の取組強化を目指してまいります。

- 小牧・春日井に続き、【とうしゅん中小企業パートナーセンター名古屋】を2021年4月に開設。3拠点体制での経営相談窓口を整備し、課題解決支援を強化しました。
- 小牧商工会議所をはじめとした近隣会議所などと連携した【とうしゅん創業塾】は過去10年で106名の創業者を輩出しています。
- 小牧商工会議所と連携した「小規模事業者持続化補助金個別相談会」をはじめとして、各種補助金の申請支援を実施しました。
- 【とうしゅん中小企業パートナーセンター】において、愛知県よろず支援拠点出張相談会を始めとした個別相談会を2020年度は計31回開催しました。



【とうしゅん中小企業パートナーセンター】での課題解決支援を強化していくことで、とうしゅんSDGs宣言の重点推進テーマである【地域経済の持続的発展】の達成にむけての活動をしています。

東春信用金庫について 1952年6月に創業。【すべてを顧客への感謝に発し、円滑なる中小企業金融を通じ、地域社会の発展に貢献するを第一義とし、併せて従業員の幸福と共に永久の繁栄を期する】を経営理念として、地域に密着した営業活動を推進しています。地域と地域の会員・顧客に支えられ2022年6月には70周年を迎えることとなります



本店所在地 小牧市中央1丁目231番地1 店舗数 19店舗

東春信用金庫様の経営理念はSDGs理念とも合致しており、地域経済の持続的発展を目指す「本業支援」という取り組みも、関係機関とのパートナーシップにより具体的に実践されています。これらの活動成果は次世代における金融機関の存在意義となることでしょう。



一般社団法人
中小企業支援ナビ代表理事
中小企業診断士

長谷川雅彦